

年寄りには死ねというのか!

差別医療

高額保険料

年金天引き

2年毎値上げ

保険証取り上げ

「後期高齢者医療制度」のスタートを前に「保険料が年金天引きされたら、暮らしていけない」「年寄りは死ねと言うのか」…と不安と怒りが拡がっています。

後期高齢者医療制度は中止・撤回しかない

差別医療は御免です

〈4月実施〉「後期高齢者医療制度」とは…

日本共産党府会議員団が明らかにした、4月から実施の後期高齢者医療制度の問題点は次の通りです。

❗ 保険料

2年ごとに値上げ。扶養家族からも保険料

収入がゼロの人やこれまで「扶養家族」で負担のなかった人も、保険料がかかります。京都の保険料は平均=9.5万円。全国5番目と高額です。しかも、高齢者や医療費が増えると、2年ごとに値上げされます。

❗ 年金天引き

わずかな年金から天引き どうして暮らせと?

保険料は、原則、年金から自動的に天引きされます。国は「便利にように」と言っていますが、「取りっぱぐれ」防止が目的。老齢基礎年金の平均月額が約5万円。支払いが苦しくても分納の相談すらできないことになります。

❗ 資格証

高齢者からも保険証取り上げ

年金額1万5千円以下の方は、保険料を直接納付します。滞納すると、保険証を取り上げられ、「資格証明書」になり、窓口負担は全額(10割)に。これでは、お医者にかかれません。

❗ 医療の内容まで差別

医療の内容を年齢で差別し、安上がりに済ませようとしています。

1 包括医療制度

病院にかかる回数や検査を制限するため、高齢者の保険医療に上限(1か月6,000円)を設ける「包括医療制」を導入します。

2 病院追い出し

入院患者に自宅での治療を指導した医療機関を診療報酬で優遇。医療費抑制を目的に高齢者を病院から追い出します。

3 看取りの医療

退院が難しい人を退院させたら医療機関を診療報酬で優遇するなどし、安上がりの「看取りの医療」・「在宅死」を誘導します。

4 健康診断も制限

高血圧や糖尿病などの生活習慣病で医療機関にかかった方の健康診断の受診が制限されます。

日本共産党のホームページで
保険料計算
できます!



日本共産党

www.jcp.or.jp



日本共産党のホームページ左上の特集タイトルからクリックしてください。

広がる!
「中止・撤回」の声

500こえる議会が意見書



全国の医師の願いは「白紙撤回」

京都民医連第二中央病院 院長

門 祐輔さん

1人の高齢者の1ヶ月の医療すべてに責任を持って医療機関に入る収入は6,000円。これでは責任を持った医療はできません。全国の医師の思いは「白紙撤回」です。



こんな制度、お友達にも知らせて止めさせたい

南区にお住い

片山スサさん(中央)

お医者にかかっても、若い人と差をつけるなんて、本当に許せません。こんな年寄りじめの悪い制度、お友達にも知らせ、止めさせたいですね。共産党がんばれば。

共産党など4野党が廃止法案を提出

府議会でも廃止求める意見書採択に全力

後期高齢者医療制度の中止・凍結を求める国民の声に応え、日本共産党と民主、社民、国民新党の4野党は、国会に同制度の廃止法案を提出、成立に全力をあげています。

京都府議会でも、後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書の採択めざし全力をあげました。

廃止法案の内容

- 後期高齢者医療制度の廃止
- 70～74歳の医療費自己負担の2割引き上げ中止
- 後期高齢者医療制度と国保料(税)の年金天引き中止
- 介護療養病床廃止計画等の撤回など



国会内での4野党緊急集会であいさつする小池晃党政策委員長



知事総括質疑で迫る光永府議

知事に廃止求めよとせまる前窪府議



日本共産党府会議員団は市町村の議員団と力を合わせ、後期高齢者医療制度の中止・撤回、制度改善に今後も全力をあげます。

お年寄りが安心して お医者さんにかかれるように 日本共産党府会議員団は、みなさんの声を届けています

日本共産党 一貫して「後期高齢者医療制度」導入中止を求める

知事 最後まで「凍結・中止」国に求めず

「知事、国に対し、後期高齢者医療制度の凍結・中止をもとめるべきではありませんか」…共産党府議の追及と府民の運動に、京都府は、保険料負担の軽減へ支援を実施しました。しかし、知事は、「制度の廃止」を求める府民の願いに、最後まで応えませんでした。



届けられた新しい保険証の裏には「滞納している場合、この証を返納していただきます」と明記してあります。

中止・撤回と制度改善へ みなさんと力あわせがんばります

府内15市町で、廃止・見直し求める意見書

府民の運動と市町村議会での日本共産党議員の奮闘で、京都府内15の自治体で後期高齢者医療制度の「廃止」や「見直し」を求める意見書が採択されています。

保険料負担軽減対策 7,800万円の府補助

市町村の独自施策となっている75歳以上のお年寄りの健康診断料金分を京都府が負担する形で、府が保険料の引き下げに補助を実施。府の支援の一層の強化を求めます。

保険証取り上げ許さない

滞納を理由に「高齢者から保険証を取り上げるな」と、広域連合議会で共産党議員が追及。副連合長は、議会で、「機械的一律に発行しない」と答弁しました。

府のマル老制度の継続も

65～69歳の高齢者の医療費負担を1割にしている、京都府のマル老制度。府は、後期高齢者医療制度の実施にあわせ、2割負担にするとしていましたが、日本共産党と府民の運動で凍結に追い込みました。



日本共産党
京都府会議員団は
これからも全力で
医療とくらしを
守ります



新井進

北区

長寿を尊び、喜ぶのは世界の常識です。これに逆行する制度は、許せません。人間社会の道理に反します。



前窪義由紀

宇治市・久世郡

75歳になれば、一人前の人間でないのか。「こんな制度は中止すべき」と、怒りを込めて代表質問に立ちました。



梅木のりひで

左京区

団塊の世代の医療費抑制が目的だというから、さらに力を結集して中止・撤回を一日も早く実現させたい。



みつなが敦彦

左京区

左京で開いた後期高齢者医療制度学習会に130人参加。怒りを大きく広げ、中止・凍結にむけ闘いましょう。



松尾孝

伏見区

送られてきた保険証をみて新たな怒りがこみ上げてきます。このひどいやり方、なんとしても止めさせなければと思います。



かみね史朗

右京区

「息子の扶養で負担なかったのにひどい」。この声に応え、お年寄りいじめをやめさせるためにかんげります。



原田完

中京区

本当に許せないのは、終末期患者を医療から切り離し、在宅に移行させる。命の沙汰も金次第と言うような制度は娼捨山と一緒に絶対に許せない。



山内よし子

南区

私の義母も実母も80歳。1日でもいっから長生きしてほしいと思っています。後期高齢者医療制度の中止・撤回のためにがんばります。



西脇いく子

下京区

保険料が払えない高齢者世帯から保険証を取り上げる「お金の切れ目が命の切れ目」の政治は転換しかありません。



上原ゆみ子

伏見区

伏見稲荷でお会した男性。「もう92歳。生きにくくなったもんや。長生きしすぎたな」とポツリ。長寿は罪ではありません。こんな政治変えましょう。



さこ祐仁

上京区

75歳まで長生きしておめでとう。これからは医療費の心配はいりません。こういう制度づくりが国の責任だ。

<http://www.jcp-kyotofukai.gr.jp/>

京都府議団

検索

E-mail: giindan@jcp-kyotofukai.gr.jp

府政へのご要望、ご意見は
日本共産党京都府会議員団にお寄せ下さい